

令和6年度 2学期終業式 校長講話

R6 12/23

おはようございます。寒い中ですが、少し時間をいただきたいと思いません。

2学期の終業式を迎えました。

今日は9月からの2学期の生活を振り返り、総括しながら一つのことを締めくくる日です。これからの話を聞きながら考え、自分自身に当てはめて振り返ってください。

この4か月間は、「いい時 悪い時 楽しい時 苦しい時 思い通りに事が運んだ時 運ばなかった時」といろいろあったと思います。皆さんは、どれが多かったですか。自分自身で振り返ってください。

また、すでに今日で2学期が終了する生徒もいれば、今少し努力が必要な生徒もいると思います。自分自身はどちらですか。考えてください。

さて、今年度を振り返ってみると、様々な学校行事がありました。

まず、1学期には、4月に入学式があり、1年生が入学しました。1年生の皆さん、入学した時と現在の心境はどうですか。2年生は6月に修学旅行がありました。その時期に1年生・3年生は校外学習がありました。

2学期になると10月に体育大会、11月に学校祭がありました。

また、3年生は、2学期からは本格的に進路に取り組む時期になり、自分の将来を見通し、卒業後の進路を決定する大きな課題に挑戦した2学期でした。希望にそった進路先が決まった人も、安心することなく最後まで高校生としての責任を果たしてください。

そして、まだこれからもうひと頑張りする人もいます。自分に負けることなく諦めないで頑張ってください。みんなで応援しています。

11月には、生徒会役員選挙がありました。前生徒会長の岡崎さんから新生徒会長の高松君にバトンが渡され、新しい生徒会執行部が誕生しました。今後の様々な行事での活躍を期待しています。

今日はこれまで、学校行事を中心に話していますが、私から皆さんに伝えたいのは、学校の行事というのは、一人では絶対に成り立たないものばかりで、クラスや学年のみんなが協力して取り組むことに大きな意義があったということです。

そして、学校というものを一つの社会と考えた時、実際の社会と共通するものは何なのか考えてみてください。

私は、共通することは、一人では決して生活できない。絶対に誰かに頼り頼られ、協力しあいながら生活しているということだと思います。

私達を取り巻く社会を見回してみると、政治・経済など、日本国内だけでなく、国際的にも大きな問題が山積されています。

また、AIがますます進歩し、さまざまな仕事が、AI中心に行われる時代に入ります。

そして、日本では少子化により、現在、約1億2000万人の日本の人口が50年後には、8700万人となり、今より3800万人減少するとも言われています。

そういったことから、これからは何が大切か、私は、皆で知恵を出し合っていくことが大切だと思います。

それでは、みんなで知恵を出し合うにはどうしたらいいか、それは、コミュニケーションだと思います。そして、ただ誰かと会話をするだけでなく、相手の心を見ながら会話をするコミュニケーションが必要になってくると思います。AIは、人の心は読み取れません。

私は、学習はもちろん大切と思いますが、皆さんには、ぜひ「人の心を見ながらコミュニケーションする力」をつけてもらいたいと思っています。

最後になりますが、2学期に力を発揮できなかった生徒は、『何がいけなかったのか？どうすればよかったのか？』について必ず「振り返り」を行い、挽回してください。過去は変えられませんが、未来は作ることができます！頑張りを期待します。

そして、明日から冬休みです。クリスマスや年末年始と普段とは違った雰囲気が社会全体に漂います。年一度のイベントや年越しですから楽しむときは大いに楽しみ、けじめのある充実した毎日を送ってください。

令和7年1月7日火曜日に、ここに全員が集まって3学期の始業式を迎えられるよう、とにかく、安全に気をつけて冬休みをすごしてください。

以上で私からの話とさせていただきます。